

報道関係各位

2021年6月25日

株式会社ダスキン

## 企業としての成長と持続可能な社会の実現に貢献するための サステナビリティ<sup>※1</sup>委員会にて 「ダスキン環境目標 2030 (DUSKIN Green Target 2030)」を策定

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：山村輝治）は、企業としての成長と持続可能な社会の実現に貢献するため、事業を通じた環境・社会問題への取り組み強化と実践を目的としたサステナビリティ委員会<sup>※2</sup>にて、2030年度までの環境経営における目標「ダスキン環境目標 2030 (DUSKIN Green Target 2030)」を6月24日に策定しました。

ダスキン環境目標 2030では、循環型社会づくりに向けて、フード事業における食品ロス量の削減目標やダスキングループ及び加盟店・協栄工場で使用している化石資源由来プラスチックの削減、容器包装プラスチックのリサイクル率を向上させる目標を新たに設定しました。また、脱炭素社会の実現に向けて、2030年度までに再生可能エネルギーの利用比率目標を50%に設定するとともに、ダスキングループ拠点におけるCO2排出削減目標を2013年度比26%から46%に引き上げます。

今後も、創業者の願いである「道と経済の合一」を実現するべく、事業を通して社会のお役に立つSDGsの目標達成に貢献する取り組みを掲げ、更なる企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指します。

※1.サステナビリティ：持続可能性（Sustainability）。目先の利益を追い求めるのではなく、自然環境や社会システムの維持にも目を向けようという考え方や活動。

※2.サステナビリティ委員会：2021年5月1日にCSR委員会より改称。

廃棄物削減、資源の有効活用により  
**循環型社会づくりに貢献します。**

### 2030年度目標

- ・食品ロス量 **半減**（2000年度比）
- ・化石資源由来プラスチック  
**25%**排出抑制（2020年度比）
- ・容器包装プラスチックリサイクル率 **60%**

気候変動への対応により  
**脱炭素社会の実現に貢献します。**

### 2030年度目標

- ・再生可能エネルギー利用率 **50%**
- ・ダスキングループ拠点のCO2排出量  
**46%減**（2013年度比）





■株式会社ダスキンの環境方針

<https://www.duskin.co.jp/sus/ecology/management/>

## 【ダスキンの ESG・SDGs への取り組み】

1. 事業を通じて経済・社会・環境の課題解決に取り組む C S V (共通価値の創造)の推進
2. 3つの価値(経済価値、社会価値、環境価値)を相互に実現するためのガバナンス強化

### <取り組むべき課題と SDGs への貢献>

創造価値	取り組むべき課題 (マテリアリティ)	SDGs への貢献 (ターゲット)
経済価値	衛生領域商品・サービスの充実	 3.3  8.2
	ケアサービス事業・シニアケア事業の拡充・加盟促進	
	新たな生活様式に対応した店づくりとオペレーションの確立	
社会価値	地域との共存共栄	 4.1  9.4
	安全・安心で持続可能な商品・サービスの提供	 11.7 11.a
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	 3.d  4.4 4.7
	社員の成長とキャリア実現支援	 5.1 5.5  8.5
	働き方改革と健康経営の推進	
環境価値	循環型社会づくりへの貢献	 7.2 7.3  12.2 12.3 12.5
	気候変動への対応	 13.1 13.2  14.1
企業統治	ガバナンス実効性の更なる向上	 11.b  16.10  17.14 17.16